

「au スマート・ベーシック」「au スマート・プライム」マネックス証券に提供開始

本日 2023年2月21日より、au アセットマネジメント株式会社（以下、当社）は、マネックス証券株式会社（以下、マネックス証券）に、当社が運用する「au スマート・ベーシック」「au スマート・プライム」（以下、当ファンド）の提供を開始します。



【会社概要】

- 会社名 : au アセットマネジメント株式会社
- 所在地 : 東京都千代田区西神田三丁目2番1号 千代田ファーストビル南館4階
- 代表者名 : 代表取締役社長 清水 慎一
- 株主構成 : au フィナンシャルホールディングス 66.6%
大和証券グループ本社 33.4%
- 事業内容 : 投資運用業
投資助言・代理業
第二種金融商品取引業
金融商品仲介業
確定拠出年金運営管理業

登録番号 : 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3062 号
金融商品仲介業者 関東財務局長（金仲）第 872 号
確定拠出年金運営管理機関登録番号 792

加入協会 : 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会



(1) au スマート・ベーシック (安定)

当ファンドは、値動きの安定性を重視したタイプのバランス型の商品です。

4つのファンドへの投資を通じて、内外の債券、株式に分散して投資を行い、リスクの低減を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

資産クラス毎の運用は、概ね市場全体の動きを捉えることをめざし、資産配分比率は概ね、国内株式 15%、国内債券 65%、先進国株式 5%、先進国債券 15%とします。

(2) au スマート・ベーシック (安定成長)

当ファンドは、値動きの安定性に配慮しつつリターンを狙うバランス型の商品です。

6つのファンドへの投資を通じて、内外の債券、株式に分散して投資を行い、リスクの低減を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

資産クラス毎の運用は、概ね市場全体の動きを捉えることをめざし、資産配分比率は概ね、国内株式 20%、国内債券 50%、先進国株式 10%、先進国債券 10%、新興国株式 5%、新興国債券 5%とします。



(3) auスマート・プライム(成長)

当ファンドは、積極的にリターンを狙いつつリスクの抑制にも配慮したバランス型の商品です。複数のファンドへの投資を通じて、内外の債券、株式等に分散して投資を行い、リスクの低減を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

投資するファンドは、パフォーマンスなどの定量情報や運用体制や運用哲学などの定性評価等を勘案して決定します。資産配分比率は概ね、国内株式 25%、国内債券 35%、海外株式（新興国株式含む）20%、海外債券（新興国債券含む）20%を基本とし、上下 10%の範囲内で配分比率を調整します。

(4) auスマート・プライム(高成長)

当ファンドは、ある程度リスクをとっても積極的にリターンを狙うバランス型の商品です。複数のファンドへの投資を通じて、内外の債券、株式等に分散して投資を行い、リスクの低減を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

投資するファンドは、パフォーマンスなどの定量情報や運用体制や運用哲学などの定性評価等を勘案して決定します。資産配分比率は概ね、国内株式 30%、国内債券 20%、海外株式（新興国株式含む）35%、海外債券（新興国債券含む）15%を基本とし、上下 10%の範囲内で配分比率を調整します。

投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

■ 基準価額の主な変動要因 ※変動要因は下記に限定されるものではありません。

- ・ 株価指数先物取引の利用に伴うリスク
- ・ 価格変動リスク・信用リスク（株価の変動・公社債の価格変動）
- ・ 為替変動リスク
- ・ カントリー・リスク
- ・ その他（解約申込みに伴うリスク等）

■ リスクの管理体制

委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用部門から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用部門へのモニタリング・監視を通じ、運用リスクの管理を行います。また、流動性リスク管理に関する規定を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行い、リスク管理会議において、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理体制について、監督します。

ファンドの費用

- (1) au スマート・ベーシック (安定)
- (2) au スマート・ベーシック (安定成長)

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	ありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—

投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.242%(税抜0.22%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され、毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。

運用管理費用の配分(税抜)^(注)および役務の内容については、下記をご参照下さい。

委託会社	料率等	費用の内容
委託会社	0.10%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
販売会社	0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
受託会社	0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。

(注)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

〈投資対象とする投資信託証券〉 投資対象ファンドにおける運用管理費用です。
年率0.143%(税抜0.13%)

〈実質的に負担する運用管理費用の概算値〉 実際の組入状況等により変動します。
年率0.385%(税込)

(3) au スマート・プライム (成長)

(4) au スマート・プライム (高成長)

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	2.2%(税抜2.0%)を上限として販売会社が別に定める率 くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。	購入時の商品説明ならびに事務手続き等にかかる費用の対価です。

信託財産留保額	ありません。	—
---------	--------	---

投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.902%(税抜0.82%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され、毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。
------------------	-------------------	--

運用管理費用の配分(税抜)^(注)および役務の内容については、下記をご参照下さい。

委託会社	0.40%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
販売会社	0.40%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
受託会社	0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。

(注)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

〈投資対象とする投資信託証券〉 投資対象ファンドにおける運用管理費用です。
年率0.143%(税抜0.13%)～0.9625%(税抜0.875%)

〈実質的に負担する運用管理費用の概算値〉 実際の組入状況等により変動します。

auスマート・プライム(成長)	年率1.1946%(税込)～1.446225%(税込)の範囲内
auスマート・プライム(高成長)	年率1.338425%(税込)～1.590325%(税込)の範囲内

※2023年2月21日よりお取扱いを開始するマネックス証券でのインターネット申込手数料は、0% (ノーロード) となりますが、購入チャンネルにより申し込み手数料が発生する場合がございます。販売会社にてご確認ください。

以上